

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1170500480		
法人名	株式会社 ウェルフェアクリエイション		
事業所名	ソレアード新白岡		
所在地	埼玉県白岡市新白岡8-12-3		
自己評価作成日	令和元年9月11日	評価結果市町村受理日	令和元年11月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様とのコミュニケーションを大切に、笑顔の絶えない日々になるよう職員一同努めています。
また、ご利用者様一人一人が主役になれるような働きかけや工夫を怠らないように心がけています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター		
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号		
訪問調査日	令和元年10月16日		

・ご利用者様を第一と考えた、行動指針に基づき、利用者の思いを大切に、笑顔で快適に過ごされるよう、利用者本位のサービスが実践されている。
・イベント企画の検討の段階から利用者ご加わり、食のイベントや地域交流企画、外出企画など、多種のイベントが行われ、利用者の明るく生き活きた暮らしに結び付けられている。
・運営推進会議では、事業所から利用者の暮らし振りや活動報告のほか、事業所の取り組みへの評価、地域の情報提供など、幅広い内容での意見交換を行うなど、有意義な会議運営をされている。
・目標達成計画についても、定期訓練では火災発生を想定し、初期消火など基本訓練に取り組みされるほか、水害想定避難訓練や夜勤専任者の災害時対処法などに取り組まれていることから、目標が達成されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念をスローガンとし、日々の朝礼時に唱和しています 全職員に意識付けを図っています	「ご利用者様を第一と考え、全てに優先させます。ご利用者様の要望に対し常に答える様努力をします」などの行動指針に基づき、利用者の思いを大切に、笑顔で快適に過ごされるよう、利用者本位のサービスが実践されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	イベント開催時、近隣の方を招待しています また、公園等でもあいさつしたりと地域との交流を図っています	散歩など、外出時には地域の方と挨拶を交わされたり、納涼祭ではスタンプラリーで子供達や地域の方との交流を楽しまれるなど、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう支援をされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営委員会で説明しています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的を開催しています ご家族様からのご要望、ご意見を頂き、それに沿うようにと努めています	事業所から利用者の暮らし振りや活動報告のほか、事業所の取り組みについての評価や提案、利用者の意見や地域の情報を提供していただくなど、事業所運営やサービスに活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所の福祉課、高齢介護課の方々との連携を図っています	行政の担当者には運営推進会議でアドバイスを頂いているほか、報告・相談時や申請手続き時にコミュニケーションを図られるなど、良好な関係を築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を実施し、職員全員の理解を深め、意識付けを行っています	身体拘束適正化委員会が定期的に行われている。その機会に拘束に関する学びの時間をもち、身体拘束の内容とその弊害を確認、言葉での拘束を含め、行動抑制をしないケアを実践されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を実施し、身体的にだけでなく、言葉による暴力などないよう、全職員注意しながらケアを行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全体会議、研修の場を使い、全職員に伝達しています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	わかりやすく、きめ細かい説明をするよう心がけています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々、ご利用者様、ご家族様のご意見、ご希望に耳を傾け、それを生かしたケアを心がけています	「この魚料理は好きではない」との要求には別メニューで対応されるなど、利用者の要望に応えられている。家族については面会やイベント時で意見・要望を聞き取られ、サービスや事業所運営に反映されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設全体会議にて伝える場を設け、全職員に通達、浸透させています	全体会議やフロア会議で意見・提案の聴き取りをされたり、各種委員会が組織され、発言し易い環境がつけられている。その中で、外出やイベント企画など、具現化されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	可能な限り職員の希望、意見を聞き入れ、働きやすい環境となるように努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	技術研修を開催し、全職員のスキルアップをはかるよう努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	会議、研修、イベントを通じ、交流の場を作っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様にとって、今必要な事、しなければいけない事を職員で意見を出し合い対応しています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の面会時にお話させていただき、ご意見、ご希望をお伺いし、ご要望に沿うように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様の状態は日々変化していくので、ご本人様、ご家族様の要望を把握し、サービス計画を立案しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食器拭き、洗濯物たたみ、洗面台の掃除、カレンダー作成等行って頂き、共同生活の一端を担って頂いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様にお誕生会、イベントに同席して頂いたり、面会時の写真撮影など、ご家族様と一緒に思い出作りを心がけています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様の経歴、環境を理解することに努め、会話の話題にするように心がけています	近所の方の面会や遠隔地からの親族の定期訪問のほか、地元神社への初詣、馴染みの理・美容院やスーパーマーケットに出かけられるなど、これまで大切にしてきた関係が途切れないよう支援をされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員の声掛けを随時行うように努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も相談や支援の対応に努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その方の希望されている生活を送っていたできるように対応しています	利用者との信頼関係を築くことを大切にしながら、様子の気になる利用者とは、居室や個別の外出時などを活用し、1対1となる機会にゆっくりコミュニケーションを図り、利用者本位に検討されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	やって頂く事をご本人様と相談、決定し、毎日続けて頂くように促しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の様子、状態を日々観察し、気付いた事を生かすケアに努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要な事は何かを話し合い、状態、状況に応じた計画を立案しています 状態変化時には随時カンファレンスを行い、検討しています	利用者・家族から思いや意向を聴きとり、居室担当を中心に、医師・看護師からの指示を含め、関係する職員間で意見交換を行ない、その人らしさを大切に介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態、変化やケアの内容を介護記録内にまとめ、全職員が理解し、同様のケアが行えるようにしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様が好きな事を好きな時にできる環境作りに努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公園にて地域の皆様とのふれあい、コミュニケーションを大切にしています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な往診、及び必要に応じて歯科往診の対応を行っています	利用者や家族の希望を尊重し、医療機関の選択をしていただいている。専門医等かかりつけ医の受診は家族対応を基本としているが、必要な情報提供を行ない、適切な診療が受けられるよう支援をされている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご利用者様の日々の変化、気付いた事を看護職に伝達、相談し、その都度対応しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合、職員が病院に行き、状態の確認、情報を得るように努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期の方には、全職員、ご本人様がどうしてほしいか、最善の環境は何か、考え対応しています	利用者の症状に合わせ、重度化・終末期についての話し合いが持たれ、利用者・家族と意思統一を図られている。その後も意思確認を進めながら、医師・看護師と連携のもと、重度化や看取り支援に取り組まれている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習を全職員が定期的を受け、対応できるようにしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施し、地域の皆様にも参加して頂いています	定期訓練では2F洗濯場からの火災発生を想定し、初期消火・通報・一次避難場所までの避難誘導訓練に取り組まれている。また、水害時避難訓練や不審者進入の防犯訓練など、体制整備に努められている。	災害対策には十分取り組まれています。高齢の利用者をあずかる事業所として、災害時の組織対応力の維持向上に向けた継続的な取り組みに期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員がご利用者様一人一人を敬い、尊重し、言葉かけ、ケアに気を付けるよう心掛けています	利用者の思いを大切に、介助の際には事前同意を心掛けるなど、利用者の人格を尊重した対応、排泄や入浴時の羞恥心に対する配慮など、きめ細かな対応がとられている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	急がせる事なく、ご本人様のペースでゆっくりと促しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	好きな時に、好きな事をしていただけるように努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整容、清潔を心がけ、更衣の衣服はご本人様に選んでいただいています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	彩り、盛り付けに注意し、見た目食欲がわくように心がけています	利用者の希望に応え、鰻を焼いたり、活魚をさばくなどイベントを楽しまれている。また、板前やコックの職員のキャリアを活かした美味しい食事提供や毎月の「ちょっと贅沢な日」を設けるなど、食の楽しみを大切に支援が行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	看護職より指示を頂き、食事量、水分量を管理、必要量は確実に摂取していただけるよう促しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員が声掛けをし、毎食後の歯みがきを促しています 又、定期的な歯科往診、口腔ケアにて対応しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄は、トイレにて行って頂く事を前提とし、定期的にトイレの声掛け、誘導に努めています	出来るだけトイレに座っていただくことを基本に、利用者一人ひとりの力や排泄パターン・習慣を把握して、適宜、声かけを行ない、トイレでの排泄と自立に向けた支援がなされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を促し、牛乳の提供、毎日自家製ヨーグルトの提供をしています 必要に応じて、看護職に指示をもらい、薬の使用をしています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	強制はせず、一人一人に合った方法を探し、入浴を促しています	入浴拒否の方には無理強いすることなく、担当職員や時間を替えるほか、入浴後のスイーツやアイスクリームを楽しみに入浴を勧めている。現在、利用者全員が浴槽につかり、ゆっくり入浴を楽しまれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中散歩やレクリエーションを行い、身体を動かすことを促し、夜は静かな環境にて、入眠しやすい雰囲気を作るよう努めています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が内服している薬の情報を理解し、誤薬、飲み忘れがないようにダブルチェックを徹底しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好きな事、やりたい事、お手伝い等、していただけるように努めています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩の声掛けを定期的に行い、外出の機会を増やすように努めています	事業所前の公園での散歩や外気浴を楽しまれている。また、恒例行事のバスハイク、季節毎の花見、利用者の希望に沿った買物や外食など、外出の機会を多く持つよう支援をされている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	旅行時、外出時など、職員と一緒にレジにて会計をして頂くように努めています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様訴え時、職員が見守りを行い、電話をかけて頂いています 手紙、暑中見舞いもご家族様宛に書いて頂いています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロア内を季節により飾りつけを替え、季節を感じられるようにしています	共用スペースには、ハロウインの装飾のほか、もみじやカエデなど、色鮮やかな季節感ある装飾が為されている。また、ソファも置かれ、利用者が、ゆっくり過ごせるよう工夫をされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	状況により、食席の変更、談話を楽しんでいただける環境作りに努めています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前より使われていた家具、道具を変わらず使用していただけるようにしています	馴染みのベッドや寝具、家族の写真や仏壇などが持ち込まれるほか、趣味のギターやご家族の持ってこられた花が飾られ、利用者が気持ち良く過ごされるよう工夫をされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア内、トイレ内、浴室と、手すりを利用し、安全に移動できるように努めています		

(別紙4(2))

事業所名: ソレアード新白岡

目標達成計画

作成日: 令和 元 年 11 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害はいつ起こるか予測が出来ないことから、水害、火災、夜間など色々な想定の訓練を定期的に実施していく。	全職員参加し、周知徹底を図る。	・備品や備蓄品の整備。 ・いついかなるときも冷静な対応が出来るよう、訓練に取り組む。 ・夜勤専の職員も参加、マニュアル作成。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。